



どんな研究？

- Jupyter Notebookを用いた講義演習システムの開発
- LC4RI(Literate Computing for Reproducible Infrastructure)に基づく構築手順を提供
- 演習の準備から実施、回答の回収などの演習のワークフローをサポート
- 演習内容の分析をサポート

何ができる？

- 演習環境の用意、教材の配布、回答の回収など、講師をサポートする機能をNotebookで提供
- Moodle等LMSや学認クラウドゲートウェイサービスによる認証と受講生の登録
- 大人数での実施でも安定動作可能な各種リソース制御
- 受講者の演習の活動履歴の取得

LMSまたは学認を利用して認証する
LMSのコースに外部ツールとして登録するか、学認クラウドゲートウェイサービスのグループに参加することで利用可能に

授業のワークフローに特化

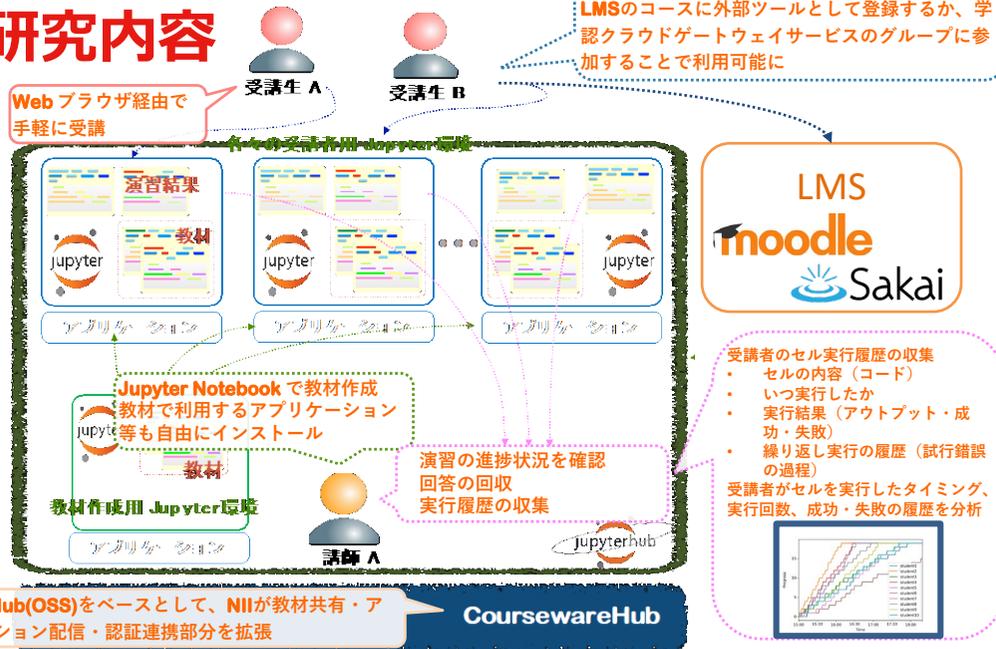
CoursewareHub

Notebook教材による演習環境の開発

- JupyterHubをベースに、演習のワークフローに必要な機能を拡張
- コースごとにJupyter環境を用意
- 講師のセルフアドミニストレーション
- 受講者の演習中の実行履歴の記録



研究内容

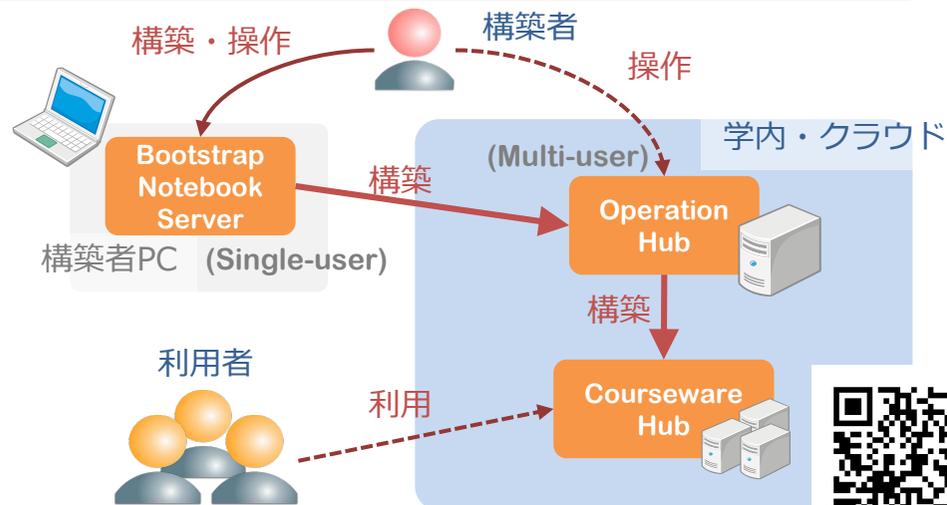


2020年度から 室蘭工業大学・群馬大学等で利用 - 受講者数100人以上の環境でも利用可能！

構築ノートブック

Jupyter Notebookベースの「実行可能な」手順書形式で構築手順を配布しています。

Jupyter Notebookによる構築・運用の実践については「人間中心の機械化・自動化 - NIIの研究クラウドはNotebookで賢く運用」もご参加ください。



https://github.com/NII-cloud-operation/CoursewareHub-LC_deploy

2022年度も情報処理技術セミナーを実施予定です:

<https://contents.nii.ac.jp/hrd/joho-karuizawa-cloud/2022/result>

使用方法レクチャー

2021年 情報処理技術セミナー(クラウド編) での実習動画です。

どのような操作ができるかの参考にしてください。

The screenshot shows a video lecture slide with a green background. The text on the slide reads '2021.10.1 情報処理技術セミナー' (Information Processing Technology Seminar, 2021.10.1). A small video inset in the top right corner shows a person's face and a timestamp '01:08:00:00'. A QR code is located in the bottom right corner of the slide. Below the slide, the URL <https://youtu.be/2NR5R7WPIw0> is provided.

CoursewareHub

<https://coursewarehub.github.io/>

連絡先: 国立情報学研究所 先端ICTセンター/クラウド基盤研究開発センター
Email : nii-cloud-operation@meatmail.jp